

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:平成27年度)

施設の名称	宮城県七ツ森希望の家
指定管理者の名称	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
施設所管部課(室)	保健福祉部 障害福祉課

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘要
平成18年4月～平成23年3月	指定管理者	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会	
平成23年4月～平成28年3月	指定管理者	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会	
平成28年4月～平成33年3月	指定管理者	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
	所在地	仙台市青葉区上杉一丁目2番3号
指 定 期 間	平成28年4月1日～平成33年3月31日(5か年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施設の名称	宮城県七ツ森希望の家		
所在地	宮城県黒川郡大和町吉田字上童子沢21		
設置年月	昭和47年7月		
根拠条例等	在宅心身障害者保養施設条例		
設置目的	在宅の心身障害者及び障害児並びに介護者の保養並びに介護者の療育に対する支援を行うとともに、在宅心身障害者の緊急一時保護を行う。		
施設の内容	敷地面積	6,600㎡	
	構造	鉄筋コンクリート造一部2階建て	
内 容	客室11, 短期入所用1(重心通園事業共用), ボランティア室4, 浴室2, 食堂, ホール, 指導員室, 事務室, 所長室, 厨房, プール, 東屋		
開館(所)日	年中無休		
開館(所)時間	午前8時30分～午後5時15分 宿泊利用者がいる場合を除く		
指定管理者が行う業務の範囲	在宅心身障害者保養施設条例第三条及び第五条。在宅の心身障害者及び介護者の保養に関する事、介護者の療育に対する支援に関する事、在宅心身障害者の緊急一時保護に関する事、前三号のほか保養施設の設置の目的を達成するために知事が必要と認める事業。保養施設の使用の許可に関する業務、保養施設の維持管理に関する業務のほか知事が別に定める業務。		
利用料金制	採用の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	利用料金の名称		

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数					
項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前年度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
開館(所)日数	366 日	251 日	366 日	100.0%	145.8%
延べ利用者数	9,000 人	7,152 人	8,111 人	90.1%	113.4%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
対象者	3,400 人	3,063 人	3,266 人	96.1%	106.6%
介護者	1,380 人	782 人	1,061 人	76.9%	135.7%
ボランティア	450 人	175 人	272 人	60.4%	155.4%
家族	700 人	413 人	575 人	82.1%	139.2%
その他	1,400 人	1,328 人	1,265 人	90.4%	95.3%
日帰り利用	1,600 人	1,356 人	1,612 人	100.8%	118.9%
3歳未満	70 人	35 人	60 人	85.7%	171.4%
合 計	9,000 人	7,152 人	8,111 人	90.1%	113.4%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入 指定管理事業 宮城県七ツ森希望の家事業 (単位:千円, %)					
項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
県指定管理料	100,929	102,151	100,671	99.7%	98.6%
利用料金収入	0	0	0		
その他	0	0	0		
収入計 (a)	100,929	102,151	100,671	99.7%	98.6%
(2) 支出					
人件費	84,112	84,185	83,014	98.7%	98.6%
施設管理費	8,506	8,014	8,480	99.7%	105.8%
事業運営費	8,311	7,909	8,053	96.9%	101.8%
その他	0	0	0		
支出計 (b)	100,929	100,108	99,547	98.6%	99.4%
(3) 収支					
収 支 (c)=(a)-(b)	0	2,043	1,124		55.0%
前期繰越収支差額	11,855	9,812	11,855	100.0%	120.8%
次期繰越収支差額	11,855	11,855	12,979	109.5%	109.5%
(1) 収入 指定管理事業 宮城県七ツ森希望の家短期入所事業 (単位:千円, %)					
項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
県指定管理料	7,170	7,011	7,002	97.7%	99.9%
利用料金収入	0	0	0		
その他	0	0	0		
収入計 (a)	7,170	7,011	7,002	97.7%	99.9%
(2) 支出					
人件費	6,498	6,368	6,345	97.6%	99.6%
施設管理費	137	175	77	56.2%	44.0%
事業運営費	535	477	374	69.9%	78.4%
その他	0	0	0		
支出計 (b)	7,170	7,020	6,796	94.8%	96.8%
(3) 収支					
収 支 (c)=(a)-(b)	0	-9	206		-2288.9%
前期繰越収支差額	12,714	12,723	12,714	100.0%	99.9%
次期繰越収支差額	12,714	12,714	12,920	101.6%	101.6%

(1) 収入 自主事業 宮城県七ツ森希望の家日中一時事業 (単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前年度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
県指定管理料	0	0	0		
利用料金収入	23	0	21	91.3%	
その他	323	298	294	91.0%	98.7%
収入計 (a)	346	298	315	91.0%	105.7%

(2) 支出

人件費	283	203	282	99.6%	138.9%
施設管理費	0	0	0		
事業運営費	63	22	35	55.6%	159.1%
その他	0	0	0		
支出計 (b)	346	225	317	91.6%	140.9%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	73	-2		-2.7%
前期繰越収支差額	3,586	3,513	3,586	100.0%	102.1%
次期繰越収支差額	3,586	3,586	3,584	99.9%	99.9%

(1) 収入 自主事業 重症心身障害児(者)多機能型事業ふわり (単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前年度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
県指定管理料	0	0	0		
利用料金収入	0	0	0		
その他	20,611	17,407	14,612	70.9%	83.9%
収入計 (a)	20,611	17,407	14,612	70.9%	83.9%

(2) 支出

人件費	14,572	13,245	12,176	83.6%	91.9%
施設管理費	1,977	1,152	1,360	68.8%	118.1%
事業運営費	1,585	1,188	1,077	67.9%	90.7%
その他	2,477	3,049	0	0.0%	0.0%
支出計 (b)	20,611	18,634	14,613	70.9%	78.4%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	-1,227	-1		0.1%
前期繰越収支差額	1	1,228	1	100.0%	0.1%
次期繰越収支差額	1	1	0	0.0%	0.0%

(1) 収入 自主事業 放課後等デイサービス事業なないろくれよん (単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前年度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
県指定管理料	0	0	0		
利用料金収入	0	0	0		
その他	17,221	21,436	21,559	125.2%	100.6%
収入計 (a)	17,221	21,436	21,559	125.2%	100.6%

(2) 支出

人件費	13,951	13,353	14,720	105.5%	110.2%
施設管理費	857	314	367	42.8%	116.9%
事業運営費	2,742	2,061	2,124	77.5%	103.1%
その他	0	905	1,241		137.1%
支出計 (b)	17,550	16,633	18,452	105.1%	110.9%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	-329	4,803	3,107	-944.4%	64.7%
前期繰越収支差額	6,070	1,267	6,070	100.0%	479.1%
次期繰越収支差額	5,741	6,070	9,177	159.9%	151.2%

6. 評価対象年度(平成27年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
①管理運営体制	宮城県社会福祉協議会の経営理念、平成27年度指定管理事業計画において策定した管理運営上の基本方針に基づき、必要職員数を確保するとともに、法人で定める諸規程に基づいて必要な帳簿等を備え、適正な施設運営を実施するとともに、職員の人材育成に努めました。 研修実績 1 施設内研修(虐待防止等) 10回 2 法人主催による研修 13回 3 各種資格取得の奨励 レク・インストラクター 1人	宮城県社会福祉協議会の経営理念、平成27年度指定管理事業計画において策定した管理運営上の基本方針及び法人で定める諸規程に基づいて必要な帳簿等を作成し、適正な施設運営を行いました。また職員の資質向上を図るための職員研修は研修実績のとおり適宜に行い、資格取得の奨励についても事業計画どおり実施しました。	A	運営の基本方針及び事業計画に基づき、必要な職員数が確保されるとともに、職員に対する研修も実施され、職員の質の向上に努めていることが認められる。また、書類も適正に管理・保管されている。	A
人員体制	正規 13人 非正規 6人				
②施設・設備の維持管理業務の実施	指定管理に関する委託契約に基づき、自家用電気工作物保安業務等の16種類の業務について保守点検を行い施設の建物設備等の適正な保守管理に努めました。また、日常業務として館内清掃や除草・除雪等の環境整備について職員が行い、より良い環境の維持に努めました。	施設・設備等の維持管理及び保守点検については、計画どおり専門業者に委託し、立会いや作業報告書により業務の確認を行ない、適正な維持管理に努めました。併せて職員による日常業務としての環境整備も行ないました。	A	保守点検を確実に実施しており、また、清掃・除草・除雪については、職員自らが行うことで、より良い環境の維持に努めている。	A
③運営業務(ソフト事業等)の実施	1 一般保養 定員80人 延 8,111人 内訳 対象者 3,266人 介護者 1,061人 ボランティア 272人 家族 575人 その他 1,265人 3歳未満 60人 日帰り 1,612人 2 短期入所事業 定員3人 延 168人	利用状況については目標値の90.1%の利用率でした。これはキャンセルが発生しキャンセル待ちの利用者に声をかけたものの思うように集客できなかったことが要因です。短期入所事業については目標値の80.0%の利用率でした。これは申込みが土日休日に集中し、個別的な対応や同性支援を要する利用状況から本事業との職員配置調整の困難が要因です。	B	一般保養、短期入所ともに目標値を下回る利用状況となっているが、広報活動や利用調整等により、利用者数の増加に努めていることが認められる。今後も利用者数の増加に向けて、より一層の取り組みが望まれる。	B
④自主事業の実施	1 日中一時支援事業 延 72人 2 重症心身障害児者多機能事業 定員10人 延 845人 1日平均利用者数 3.51人 3 放課後等デイサービス事業 定員10人 延 2,036人 1日平均利用者数 6.58人	日中一時支援利用者は目標値の72.0%の利用率でした。これは短期入所事業と同様に申込みが土日休日に集中したためです。重症心身障害児者多機能事業は目標値の83.4%の利用率でしたが、放課後等デイサービスは126.7%の利用率でした。事業を開始してから2年を経過し、徐々に家族からの認知や利用児の定着化も図られています。	A	放課後等デイサービス事業については、毎年利用者数が増加しており、順調に運営されていると認められる。	A
⑤利用者サービスの向上	1 利用者サービスの向上のため、なんでも相談部会、施設サービス評価部会、リスクマネジメント部、虐待防止委員会等を設置し、利用者の権利擁護、リスク管理を推進してきました。 2 利用者の希望に合わせたレクリエーション支援・食事メニューの提供・入浴時間の設定等を行ないました。 3 福祉QC活動による業務改善の取組みを行いました。前年度に引き続き、テーマ「お客様の満足度を知らう」 4 広報誌の発行 年3回 826部 5 ホームページで平成26年度・27年度の施設サービス評価結果一覧表を公表しています。ブログでは行事の案内や日々の出来事などを紹介しました。	保養施設として利用者の希望や状況に応じたきめ細かな接客に努め多様なニーズに対応してきました。また、福祉QC活動や広報活動についても、当初の計画どおり実行しました。ホームページとブログは29件更新しました。	A	各種部会を立ち上げて利用者の権利擁護に努めている。また、福祉QC活動を推進し、業務改善をおこなうとともに、広報誌の発行やホームページを活用することで、利用者のサービス向上に努めている。更には、利用者アンケート等の実施によって、利用者の要望や意見を把握し、利用者のニーズに合ったサービスを提供できるよう努めている。	A
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	なんでも相談室規定に基づき、責任者・受付担当者・第三者委員(2人)を配置し対応してきました。また、利用者へのアンケート調査も実施し要望の把握に努めました。 1 苦情 1件 送迎場所の誤り 要望件数 88件 食事の味付けや量、浴槽の湯の温度についての要望がほとんどですが、感謝の声も多く寄せられました。	なんでも相談室の案内やアンケート用紙の配置については適切に実施されており、常に利用者の声を聞く体制となっています。利用者の声としてのアンケートの記載内容については、館内に対応策を掲示し回答しています。個別の事例に対しても、誠に対応しご理解を得ました。	A	相談室の設置や第三者委員会の開催等、利用者の要望や意見を把握する体制が整えられている。利用者から出た要望については、できる限り実現させる努力がされている。	A
⑦安全対策	宮城県社会福祉協議会危機管理計画に基づき緊急時行動計画及び消防計画を策定し防災体制の整備を図りました。また、大規模災害時を想定した事業継続計画を策定し、非常時優先業務の明確化を図ると同時に、その後も継続的な検討を行いつつ職員に周知を図りました。消防設備は専門業者により定期的に保守点検を実施しました。また、職員が非常時に備え、日常的に非常放送の点検を行っています。	緊急時行動計画に基づき、事業所毎に具体的防災計画を策定するとともに安否確認システムの運用や、衛星携帯電話を使用した毎月の通信訓練を行いました。また、職員が非常時に備え、日常的に非常放送の点検を行っています。 ・総合防災訓練 2回(6月, 11月) ・大地震を想定した地域生活障害者の集合訓練 1回(3月) ・通信訓練(安否確認システム) 1回 ・通信訓練(衛星携帯電話)12回 ・非常時のための食糧・飲料水備蓄 80人5日分	A	平成27年12月末に施設内で集団感染が発生し、保健所の指導のもと、消毒や清掃等の研修が実施された。再発防止に向けて、今後も感染防止の意識が薄れないよう、定期的に研修を実施する等の取り組みが望まれる。	B
⑧県民の平等利用	次年度の予約申込は、仮予約として受け付け、申込日が重複した分については第三者2人の立会いの下、厳正な抽選会を実施して決定しました。抽選で外れた利用者については空いている日を案内して調整し、2月上旬に予約決定のお知らせを送りました。	抽選による予約日の決定や調整のシステムは、利用者へ浸透しており公平性は保たれているものと考えられます。この方法への苦情や不満は出ませんでした。	A	申込日が重複した日については、第三者立ち会いの下、抽選により利用者が決定されており、県民の平等利用が適切になされている。	A

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑨個人情報の保護	「宮城県協個人情報保護・特定個人情報保護規程」に基づき会議や施設内にプライバシーポリシーを掲示すること等で個人情報の適正な管理に努めてきました。また、同規定に基づき施設長を個人情報管理責任者と定めました。	個人情報の保護について職員間で共通認識を持ち適正に管理しました。また、広報誌やブログの写真掲載についても個人の特定がされないよう配慮するなど細心の注意を払いました。	A	法人で定めている規程に基づいて、職員間で共通認識を持ち、個人情報の保管・管理が徹底されている。 また、写真等個人情報の利用についても管理を徹底していると認められる。	A
⑩利用実績	上記「4.施設利用実績」のとおり。	上記③運用業務の実施、④自主事業の実施のとおり。 短期利用は保養利用との利用調整で計画しました。	B	一般保養、短期入所ともに目標値を下回る利用状況となっており、冬場の利用者数の増加が課題となっていることから、その対応策についての検討が必要である。	B
⑪収支実績	上記「5.管理運営収支実績」のとおり。	事業計画及び経理規則をはじめとする諸規則に基づき、適正な予算執行を行いました。	A	会計・経理事務を適正に執行し、適正な収支実績となっていると認められる。	A
⑫その他の取組	1 使用料の徴収 使用料の徴収事務については、無料・有料・減免の確認を行ない請求書の発行及び領収書の交付を適正に行ないました。 2 障害者と地域住民との交流 「七ツ森ふれあい福祉まつり」の実施 年1回 参加者176人 3 在宅障害児者への余暇活動支援 「まなんじゃお」の開催 年1回 37人 4 福祉レクリエーションの講師派遣 6件 5 地域行事への参加 まほろば夏祭り、大崎市夏祭り 6 キャップハンディ体験活動講師派遣 1件 3人 7 被災地支援（石巻市、南三陸町） レクリエーション派遣 3回 参加者延べ 64人 8 ボランティア講習会 年1回 10人	使用料の徴収事務については、適正に実施しました。 その他の余暇活動支援・講師の派遣・地域や関係機関との連携等についても、計画どおり適正に実施しました。 被災地支援として石巻の2法人（よりそって石巻・仮設住宅石巻小国の郷に1回）と南三陸町（南三陸のぞみ作業所へ2回）にレクリエーション活動等の講師を派遣しました。	A	使用料については、収入未済は生じていない。 また、さまざまなイベントを開催し、利用者や地域との交流が活発に行われている。さらに、東日本大震災の被災地支援として被災地にレクリエーション活動の指導者派遣を行っており、評価できる。	A
総合評価		在宅心身障害者及び介護者の保養施設として安全・安心に利用できるようサービスを提供し、気軽に利用できる施設として日帰り利用者も年間約1,600人に上がっています。また、介護者の療育支援や在宅心身障害者の緊急一時保護の受け入れ体制を整えています。更に、地域におけるボランティア育成活動、地域生活者への余暇支援活動をとおり、だれもが住みやすい地域づくりのために当事業の果たす役割は大きいものと考えます。	A	指定管理者として、事業計画に基づき、施設の管理・運営が適切になされるとともに、利用者のニーズ等に配慮した支援やサービス向上に取り組んでいると認められる。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	給湯配管用防蝕サイレンサの管の部分が錆による腐食が進み、溶接等の改修不可の状況から、交換改修を行いました。また、経年により故障リスクが高くなっている車いす対応車輛と、スチームオープンを新たにリースしています。 施設整備関連では、継続的に要求していた暖房ボイラーの交換工事と、重油タンクの増設工事について平成28年度に施工される計画となっています。 今後は、プールサイドの玉砂利が剥離しており、濾過配管の詰まりの原因になる恐れがあり、固めている樹脂も剥離した場合、足の裏を負傷する可能性があることから、早急な改修工事が必要となっています。 また、昭和47年に設置された建物・設備であるため、経年劣化による故障箇所・破損等が突発的に発生して、その都度の対応を迫られているが、今後も計画的な施設整備を進めていく必要があります。	施設整備に関しては、老朽化対策や安全確保のための改善や更新が必要となることから、状況を確認の上、適切に検討及び対応していく。